

「園芸導入事例」、「支援事業」、「研修案内」など紹介します

わたしも作ったよ！

○園芸導入支援します

阿賀野市では稲作中心から園芸を取り入れた複合経営を提案し、園芸生産拡大に向けた取り組みを関係機関一体となって推進しています。

阿賀野市農業振興協議会「園芸部会」は、今年度も「事例紹介」や「園芸支援事業」等、さまざまな役に立つ情報を皆さまにお伝えしていきます。

○H30 園芸部会重点品目実績 ※新規導入農家戸数

- ・えだまめ【7戸】 ・いちじく【7戸】 ・柿【1戸】
- ・カリフラワー【1戸】 ・トマト（ミニトマト含む）【3戸】

5品目 のべ19戸

○H31 に導入をすすめる品目

- ・いちご ・さといも ・柿 ・いちじく ・カリフラワー
- ・えだまめ ・たまねぎ ・トマト（ミニトマト含む）

8品目

※上記8品目はもちろん、これ以外の品目でも興味のある方は裏面連絡先へ！

○栽培農家の声



『H29 阿賀野市園芸研修会』に参加した際、全農のオリジナルブランド品種の紹介があり、契約単価による販売であること、収穫・出荷作業に手間がかからないことから栽培を始めました。

規格の糖度まで上がらず、灌水時間や養液濃度の調節に試行錯誤しました。今年は前年の反省を生かし、収量増、規格以上の糖度での出荷を目指します。

△：定植、■：収穫

ミニトマト	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	△		■	■	■	■



阿賀野市イメージキャラクター「ごすっちょ」

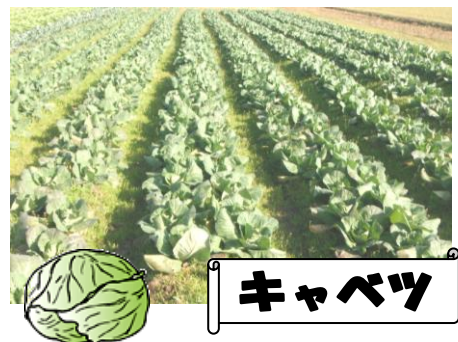
ハウス 2a あたり 販売額/34 万円 経費/15 万円 所得/19 万円 労働時間/220 時間

ほ場の有効利用と冬期間の収入確保のため、ばれいしょの後作として栽培を始めました。夏場の定植時期の高温により、定植後活着する前に枯死してしまったものもあり、植え直しが大変でした。

また、JA職員が巡回指導してくれたので対応に困る事も多くなかったです。

○：播種、△：定植、■：収穫

キャベツ	7月	8月	9月	10月	11月
	○	△	■	■	■



露地 10a あたり 販売額/32 万円 経費/20 万円 所得/12 万円 労働時間/80 時間